

射水市民病院新診療棟での診療開始について

射水市民病院では、市民の安心・安全を確保する射水市の基幹病院としての体制を整えるため、診療棟の耐震化改築工事が完成し、平成27年12月1日(火)に、明るく開放感のある新診療棟での診療がスタートします。さらに平成28年12月までにレストラン・売店等の厚生棟を整備する予定であり、これまで以上に気軽に足を運んでいただける、地域の身近な病院を目指していきます。

新診療棟のおもな特長

1 外来診療機能の充実

- (1) 診察室を拡大、診療科を5ブロックに分けわかりやすいよう配置
- (2) 中央処置室(採血)・検査部門を隣接し利便性を向上
- (3) 電子カルテ・独自の番号案内システム・シアターにより待ち時間の負担軽減
- (4) 待合いスペースを窓側に配置、明るく開放的に整備

2 救急医療機能の充実

- (1) 救急車専用入口の新設・診療面積の拡大によるスムーズな救急患者受入れ
- (2) CT・MRI室や血管造影室を隣接し、迅速な検査・治療
- (3) 手術室までの経路を他の患者に見られないようプライバシーに配慮

3 入院環境の充実

- (1) 各病棟階へ直結するエレベーター・階段を整備し、距離の短縮
- (2) CT・MRI室、リハビリ、透析センター等への速やかな移動での負担軽減

4 特色ある医療の提供

- (1) 体を温めて心臓疾患の治療を行う「和温療法」を富大附属病院に次いで導入

11月19日(木)午後3時から完成式、午後4時～5時30分一般向け内覧会。

11月30日(月)は移転作業のため外来診療を休診します。



事務担当 経営管理課(市民病院)
電話 82-8100